報道関係各位

第44回国際化学オリンピック アメリカ大会
日本代表生徒の成績について

拝啓　盛夏の候、報道関係の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、世界約70カ国・地域の高校生が化学の実力を競い合う“化学の祭典”『第44回国際化学オリンピック アメリカ大会』(7/21～30 於:ワシントン D.C.)に参加した日本代表生徒4名の成績が文部科学省より発表されましたので、添付にてご報告申し上げます。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、ご高覧賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

2012年7月30日
「夢・化学－21」委員会
公益社団法人日本化学会

◆お問い合わせ先◆　ホームページ http://icho.csj.jp/

公益社団法人日本化学会／大倉、瀬田　TEL 03-3292-6164／FAX 03-3292-6318
一般社団法人日本化学工業協会／高橋　TEL 03-3297-2555／FAX 03-3297-2615

「国際化学オリンピック派遣」主催・共催・後援団体

主催: 「夢・化学－21」委員会※ 、公益社団法人日本化学会
共催: 独立行政法人科学技術振興機構、高等学校文化連盟全国自然科学専門部
後援: 文部科学省、経済産業省

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

報道発表

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成２４年７月３０日

国際化学オリンピック参加生徒の成績について

文部科学省では、（独）科学技術振興機構を通じて、国際的な科学技術コンテストに参加する若者を支援する事業を実施しておりますが、このたび、アメリカ（ワシントンD．C.）で開催された「第４４回国際化学オリンピック」に参加した生徒の全員が、金メダル等を獲得したとの連絡を受けましたので、報告いたします。
（共同発表：「夢・化学－２１」委員会、公益社団法人日本化学会）

１．受　賞　状　況　：　金メダル２名、銀メダル２名

２．参　　加　　者　：　４名の高校生

３．受 賞 者 詳 細　：

加藤（かとう） 雄大（たけひろ）さん	筑波大学附属駒場高等学校（東京都）３年（１７歳）	銀メダル
澁谷（しぶや） 亮太（りょうた）さん	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎（大阪府）３年（１８歳）	銀メダル
副島（そえじま） 智大（ともひろ）※1 さん	立教池袋高等学校（東京都）３年（１７歳）	金メダル
山角（やまかど） 拓也（たくや）※2 さん	灘高等学校（兵庫県）３年（１８歳）	金メダル

（氏名の 50 音順にて掲載）
（年齢は本大会終了時点のもの）

※1 副島さんは 2011 年に金メダルを獲得。
※2 山角さんは今大会の実験試験で 1 番の成績。

４．参加国数/人数　：　72 か国・地域 / 283 名

５．場 所 / 期 間　：　アメリカ(ワシントンD．C．) / 平成２４年7月２１日（土）～３０日（月）

６．派 遣 機 関　：　「夢・化学-２１」委員会、公益社団法人日本化学会

（お問い合わせ）
文部科学省科学技術･学術政策局基盤政策課　大塚、伊東、箕輪
電話：03-6734-4191（直通）／03-5253-4111（内線 3884,3891,3890）

公益社団法人日本化学会　大倉、渡邊
電話：03-3292-6164

＜参考資料＞

◆大会概括

〇国際化学オリンピックは 1968 年に東欧 3 か国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）にて第 1 回大会が開催された。
〇2012 年のアメリカ大会は、第 44 回目。
〇日本は、2003 年から参加を開始し、毎年 4 名の生徒を派遣。本年は 10 回目の参加。
〇昨年のトルコ大会は、70 か国・地域、273 名の生徒が参加し、日本の成績は金メダル 1 名、銀メダル 3 名であった。
〇本年は、72 か国・地域から 283 名の生徒が参加し、日本は金メダル 2 名、銀メダル 2 名であった。

◆日本代表団の日程

７月２１日（土）	参加手続き
２２日（日）	開会式
２３日（月）	エクスカーション
２４日（火）	実験問題試験
２５日（水）	エクスカーション
２６日（木）	筆記問題試験、リユニオンパーティ
２７日（金）・２８日（土）	エクスカーション
２９日（日）	閉会式
３０日（月）	選手団解散

◆参加生徒とその居住地

			居住地
加藤（かとう） 雄大（たけひろ）さん	筑波大学附属駒場高等学校（東京都）３年（17 歳）	銀メダル	東京都
澁谷（しぶや） 亮太（りょうた）さん	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎（大阪府）3 年（18 歳）	銀メダル	大阪府
副島（そえじま） 智大（ともひろ）さん	立教池袋高等学校（東京都）３年（17 歳）	金メダル	東京都
山角（やまかど） 拓也（たくや）さん	灘高等学校（兵庫県）３年（18 歳）	金メダル	大阪府

（「居住地」は保護者宅の所在地）

◆国際化学オリンピックにおける過去3年間の日本代表の成績

2009年（第41回 イギリス・ケンブリッジ大会）
金メダル2名、銀メダル1名、銅メダル1名（参加規模：64か国・地域、250人）
2010年（第42回 日本・東京大会）
金メダル2名、銀メダル2名（参加規模：68か国・地域、267人）
2011年（第43回 トルコ・アンカラ大会）
金メダル1名、銀メダル3名（参加規模：70か国・地域、273人）

◆国際化学オリンピック（IChO＝International Chemistry Olympiad）について

1968年に東欧3か国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）が始めた高校生の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際大会である。参加資格があるのは高校生または高校と同等の学校（ただし高校相当の学年）に在学する20歳未満の生徒となる。

大会は世界の高校生が一堂に会し、化学の実力を競うと同時に交流を深めることを目的としている。毎年7月に10日間の日程で開催され、生徒らはそれぞれ５時間の実験問題と理論問題に挑戦する。成績優秀者には金メダル（参加者の約1割）、銀メダル（同約2割）、銅メダル（同約3割）が授与される。

日本は2003年のアテネ大会より参加している。

◆化学グランプリについて

「化学グランプリ」は、国際的にも通用する若い化学者を育てることを目的として、「夢・化学-21」委員会と日本化学会化学教育協議会が1998年、東京と仙台の2か所で試験的に実施したのが始まりである。翌1999年から、「全国高校化学グランプリ」として全国規模で開催されるようになり、今日では参加者が3,000人を超す大会に発展している。本大会の高校２年生以下の成績優秀者約20名が国際化学オリンピックに出場する日本代表の一次候補生として推薦されている。

◆参考資料に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本化学会／大倉、渡邊
TEL０３-３２９２-６１６４／FAX０３-３２９２-６３１８
一般社団法人日本化学工業協会内／高橋（「夢・化学-２１」委員会）
TEL０３-３２９７-２５５５／FAX０３-３２９７-２６１５
○ ホームページ　http://icho.csj.jp/
http://www.kagaku21.net/